

ベルマーク新聞 5月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

126の郵便局が小学校に寄贈

日本郵便横浜市東部地区連絡会、1ヵ月で4.7万点収集



①左から馬場武志・中川駅前郵便局長、串田明彦・横浜池辺郵便局長 ②オリジナルの台紙いっぱいには貼られたマーク ③横浜市立大口台小学校で、社員から田川校長へベルマークが手渡された
④お話をうかがった中川駅前郵便局はかわいらしい建物 ⑤ベルマークと、日本郵便公式キャラクターの「ぼすくま」 ⑥レクリエーション担当者がFAXで収集を呼びかけた ⑦「ベルマーク!!ここにあったよ」プリント

横浜市東部の126の郵便局が合同でベルマーク収集に取り組み、4万6869.3点を地域の小学校へ寄贈しました。初めての試みでしたが、1ヵ月という短い期間での収集活動は大きな成果に結びつきました。

横浜市の7行政区(西区、神奈川区、港北区、都筑区、緑区、青葉区、鶴見区)の郵便局で作る日本郵便横浜市東部地区連絡会が実施しました。社員間のコミュニケーションを目的とした秋の運動会が昨年はコロナ禍で中止になったため、集まらなくても出来る活動として、若手社員が代わりに発案したのが、ベルマークの収集でした。

11月を収集期間、12月を仕分け・集計期間と定め、集中的に取り組む計画を

立てました。名付けて「横東秋のベルマーク大収穫祭」。イベントをより盛り上げるため、エリアごとの「部会」対抗で点数・枚数を競うことにしました。ただし、ルールは「強制せず、楽しみながら集めること」。

とは言え、呼びかけるだけではマークはなかなか集まりません。そこで「ベルマーク!!ここにあったよ」というプリントを作り、社員がベルマークを見つけた商品やその点数を記入してFAXで共有することにしました。プリントの一言欄には、その商品をおいしく食べるレシピや、お店のセール情報なども書き込まれ、運動を進める楽しさが増したそうです。

仕分け・集計はオリジナルの台紙を使

いました。なんとアドバイスをくれたのは、実務を担当した馬場武志・中川駅前郵便局長の奥さん、春那さんです。小学校でベルマーク活動を担当していて「どうマークを整理したら寄贈先の学校が喜んでくれるか」考えてくれたそうです。

1月に緊急事態宣言が発令されたため、ベルマークの寄贈式を開くのは難しくなりましたが、オンライン校長会の開催にあわせて2月に神奈川区の市立大口台小学校への訪問が実現。東神奈川部会と西神奈川部会が集めたベルマークを、代表として田川斉史校長に手渡しました。

学校からは、感謝の声が多く寄せられました。特にマークの整理が済んでいたことが喜ばれたそうです。

馬場局長は今回、「地域貢献活動は『やらされる』のではなく自発的に楽しく取り組むことが大切」と感じたそうです。また、連絡会の統括局長を務める串田明彦・横浜池辺郵便局長は、今後の目標を「地域の皆様に安心・安全を提供し、『郵便局があつてよかった』と感じてもらえることが私たちの仕事。地域に合ったサービスを提供し、拠り所となる存在でありたい」と語ってくれました。

郵便局員のみなさん、ありがとうございました!!



バーチャル説明会、今年もHPで開催中

協賛会社8社からのお知らせも

2021年度のベルマーク運動説明会はコロナ禍のため、昨年に続いて中止になりました。代わりに説明会でお話する予定だった内容をまとめた「バーチャル説明会」コーナーをHPに開設しました。ご参照ください。

ベルマーク運動の現状や実務についての説明のほか、今回は工夫を凝らして活動している学校の事例集も作りしました。協賛会社から届いたベルマーク商品やキャンペーンの資料も、こちらからご覧になれます。ウェブベルマーク協会からのお知らせも掲載しています。

ベルマーク運動の理念や具体的な進め方については、HP「ベルマーク運動って?」の各項目もご参照ください。学校の事例集もそこに掲載してあります。昨年度の支援実績などはHP最下部の「財団情報」から入って「2020年度報告」をご覧ください。